

研究・調査報告書

報告書番号	担当
20	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and the risk of cancer in Japanese men: the Miyagi cohort study 日本人男性における飲酒とがんの危険性：宮城コホート研究	
執筆者	
N Nakaya, Y Tsubono, S Kuriyama, A Hozawa, T Shimazu, K Kurashima, S Fukudo, D Shibuya and I Tsuji	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
European Journal of Cancer Prevention 2005, 14:169-174	
キーワード	
アルコール消費 がん、日本人、人口寄与危険、前向きコホート研究	
要 旨	
<p>約 2 万人の日本人男性を対象とした 7 年間の追跡調査の結果、禁酒者・飲酒者では、もともと飲まない人に比べて全がんの発症の危険が約 1.3 倍、増加した。また飲酒量の増加に関連して (一日 22.8g 未満、45,5g 未満、45.6g 以上で分類) 全がん発症の危険性は高まり、がんの約 20% は飲酒のコントロールで予防できることが示された。</p>	